

2

年目の挑戦

中学校

での取り組みがはじまりました

徹底反復による基礎基本の定着を目指します

昨年度の小学校での取り組みに続いて、今年度から市内全中学校においても、このプロジェクトを進めていきます。

具体的な取り組みは小学校と同様で、学校においては、毎日20分程度のモジュール授業の実施、家庭では生活習慣の改善です。

中学校における学力低下は、基礎基本の定着不足が大きな原因といわれています。このため、学習内容の進み具合についていけず、自己不信感を募らせ、“無気力”や“荒れる”といった問題行動につながることも考えられます。

今回の取り組みは、子どもたちが自分自身への自信や意欲を向上させることとあわせて、徹底反復による基礎基本の定着によって、学力の向上にもつながると期待しています。

中学校への導入は、小学校よりもさらに難しいと

されており、全国初の試みに先生方も果敢に取り組んでいます。

保護者の皆様のご理解をいただき、家庭での取り組みについても、ご協力くださいますよう、お願いいたします。



▲四則計算の徹底反復を時間をはかりながら行います。(写真は一例)

「早寝・早起き・朝ごはん、 テレビも消して家族団らん!!」



教育長 江澤 正思

本プロジェクトも1年目が終わり、予想を超える成果に驚いています。子どもたちはとても頑張りました。

保護者の方々も生活改善でご協力い

いただきました。そして、先生方も新しい試みに全力で取り組まれました。まず、これらの方々感謝申し上げます。この成果や取り組みは、政府の教育再生会議でも再三にわたり取り上げられ、注目を集めているところです。

近年、授業が始まって席につかない子どもが増え、全国的に大きな問題になっています。このように授業に入る前の土台ができていない子どもが増えているのが現実です。この土台づくりのためにモジュール授業を導入し、生活改善をお願いしました。その成果は、知能指数の大幅な上昇という形で表れました。2年目の今年は、この知能指数の上昇をどう授業で活かし、本当の学力に

結びつけるかです。先生たちの挑戦は続きます。

義務教育改革の本丸は、中学校と考えています。中学校を終えた後、周りの環境がどうであろうと、自分で人生の荒波に出ていける、そんな子どもを育てたいと思っています。それを目指して、市内全中学校に今年度より本プロジェクトを導入します。特別な学校をつくるのではなく、全校一斉導入という全国初の試みは、本市において義務教育では格差を作らないという思いからです。

もちろん、この試みが実を結ぶためには、子どもの頑張り、先生の頑張り、保護者の頑張り、と同時に地域の方々、市民全員のご理解とご協力が不可欠です。特に学力調査・生活実態調査からは、生活習慣が学業に極めて大きな影響を与えると同時に、その改善がとても難しいことがわかりました。生活改善は子どもだけではできません。まず、保護者の方々、それを取り巻く市民全員のご協力が必要です。

今年度は、さらに広げて全市を挙げて「早寝・早起き・朝ごはん、テレビも消して家族団らん」に取り組みたいですと思っています。どうぞ、よろしく願います。

みんなですばらしい子どもを育てましょう。

【問い合わせ先】 教育政策室 (☎ 82-1208) E-mail:k-seisaku@city.sanyo-onoda.lg.jp